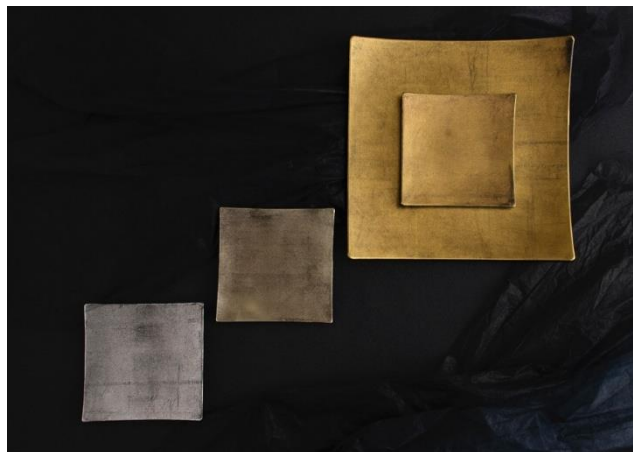


2021年11月10日
箔座株式会社

日本の自然の美しさを、箔の器に。 新しい箔の器 第二弾「雲間の月影」

2021年11月10日(水) 発売



金箔製造販売の箔座株式会社（石川県金沢市森山、代表取締役社長 高岡美奈、以下箔座）は、日本の自然の美しさをモダンで洗練されたデザインで表現した新しい箔の器のシリーズ第二弾として「雲間の月影（くもまのつきかげ）」を、2021年11月10日（水）に直営店舗、オンラインショップにて発売いたします。

新しい箔の表現、「雲間の月影」

雲間に浮かぶ、淡い光。静謐でありながらも、どこか艶めかしい月の光を表した「雲間の月影」。落ち着いた気品と奥深い艶を感じさせる、新しい箔の表現です。和歌から着想を得た名前は日本情緒にあふれ、デザインされた自然の情景を、より美しく伝えます。

わが心 いかにせよとて ほととぎす 雲間の月の 影に鳴くらむ

引用：「新古今和歌集」皇太后宮大夫俊成

*現代語訳：私の心をどうせよとってほととぎすは、雲の切れ間から差す月の光の中であかも鳴いているの

箔×墨

夜空に滲む淡い月の光を、箔と墨で表現した「雲間の月影」。製作工程に墨を取り入れることで、箔本来の輝きに独特の艶が生まれました。箔と墨が絶妙に溶け合った印象的なデザインは、職人の手技による一点もの。薄墨に優しく包まれた箔のひかりが、美しく艶やかに輝きます。

箔を尊重し、箔本来の力と美しさを活かす、職人の手技

1万分の1～2mmという極薄の金属、箔。その類い稀な美しさを活かすため、箔座では自社工場の「箔品工房」において職人がひとつひとつ、ていねいに箔を置き、「箔品」をつくりあげています。それぞれ微妙に異なる箔の表情や輝きは箔ならではの魅力であり、熟練の職人技によって引き出されます。機械による大量生産とは異なり一度に多くはつくれませんが、手仕事だからこそできる、細部にまでこだわった、箔の魅力が活きる器をお届けします。

「雲間の月影」商品ラインナップ (全5種)



- ・雲間の月影 プレート大 (金箔四号色) / (銀白色)
サイズ：約30×30×3.5cm 各17,600円(税込)
- ・雲間の月影 プレート小 (金箔四号色) / (定色) / (銀白色)
サイズ：約15×15×1.5cm 各6,050円(税込)

基材：フェノール樹脂（ウレタン塗装）
箔：金箔四号色…純金94.438%、純銀4.901%、純銅0.661%
定色（さだいろ）…純金58.824%、純銀41.176% *小サイズのみ
銀白色（アルミ箔）…アルミ100%

薄墨を施すことで、箔本来の力強い輝きをおさえ、まるでベールがかかった神秘的な夜の月のように、柔らかく艶のあるひかりの器に仕上げました。上品な箔の輝きが、載せたものをより美しく魅力的に引き立てます。「雲間の月影」は、日々の暮らしを豊かに楽しむ器として、ご自宅用にも贈り物にもおすすめです。

取り扱い店舗（直営店）

箔座本店（石川県金沢市森山）、箔座ひかり蔵（石川県金沢市東山）、箔座日本橋（東京都中央区日本橋室町）、箔座オンラインショップ <https://www.hakuza.com/>

発売日

2021年11月10日

※本リリースに掲載の写真は、印刷または閲覧環境の違いにより実際の商品の色とは異なる場合がございます。

箔座株式会社 ユネスコ無形文化遺産「縁付金箔（えんつけきんぱく）」の技を守り、中尊寺金色堂、西本願寺など国宝や重要文化財の修復に使われる金箔を手掛ける、石川県金沢市の金箔メーカー。純金と純プラチナを合金したオリジナルの金箔「純金プラチナ箔」を開発し、付加価値の高い商品作りを推進。金箔の本場・石川県金沢市のテーマショップのほか、東京日本橋で旗艦店「箔座日本橋」（コレド室町1）を展開。幅広いカテゴリーで、金箔の魅力を発信することに取り組む。

本社：石川県金沢市森山1-30-4 TEL 076-253-0893（代表） www.hakuza.co.jp



<お客様お問い合わせ先>

箔座株式会社 www.hakuza.com
TEL 0120-893-505（9:30～17:30 土・日・祝日休）

<本プレスリリースについてのお問い合わせ>

箔座株式会社 広報課 四十万谷
TEL 076-253-8885（平日9:30～18:00）
FAX 076-252-7765 shi.jimaya@hakuza.co.jp